

◆ 巻頭言 ◆ 歯周病と生活習慣病 一般社団法人青森県歯科医師会 学校歯科委員会 委員 葛西治千代 (西つがる歯科医師会)

歯周病が糖尿病や動脈硬化、心筋梗塞、誤嚥性肺炎等の生活習慣病に深く関与していることが云われる今、その予防は喫緊の課題と云わざるを得ません。

しかしながら歯科健診は、1歳半に始まり高校卒業まで、それ以後各市町村の成人健診までありません。

つがる市に於いても成人の節目健診が行われるのは40歳です。実に高校卒業の18歳から40歳までの22年間、口腔の管理は全く自己責任に委ねられる事になります。

先日糖尿病を患う42歳の男性が「下の前歯が動いている」と来院されました。ご明察の通り進行した歯周病で、やむなく15本を抜歯しました。残りの6本の歯も残念ながら保存は難しいと思われまます。

仕事に、家庭に、人生これからと云う時、生まれ持った大切な歯を一度にこれほど多く失ってしまうことは真に残念であり、長年多くの患者さんに接して来た身ながら、歯周病の恐ろしさを改めて感じました。

さて、今まで学校歯科保健では、主にDMF歯数の比較によるむし歯予防を中心とした活動を展開して来ましたが、それにとどまらずGOやGなど歯肉の状態を示す統計分析を行う等、さらに踏み込んだ歯周病対策が必要と思われまます。

小学校から高校までの在学期間中に、いかにしっかりむし歯と歯周病予防の知識を身に着けさせることができるか、益々知恵を絞らなくてはならないと強く思う次第です。

特選
作品

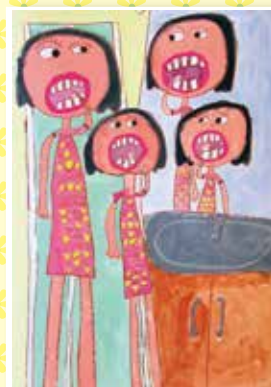
歯科保健図画・ポスター・歯科啓発標語コンクール 結果



保育園の部
南栄町保育園 (青森市)
成田光希さん



幼稚園の部
菜の花こども園 (おいらせ町)
小山田こころさん



小学校低学年の部
六戸町立六戸小学校3年
保土沢彩世さん



小学校高学年の部
六戸町立開知小学校5年
佐々木結愛さん



特別支援学校の部
青森県立八戸聾学校 中学部2年
畑澤歩斗さん

永久歯 毎日磨けば A級歯

弘前市立第三中学校1年 鎌田 滯さん

2019年度青森県学校歯科保健研究大会

～児童生徒の生活習慣を口腔衛生の立場から考える～

日時：令和元年7月25日(木) 場所：青森市「青森県歯科医師会館」

主催：青森県教育委員会・青森県歯科医師会 共催：青森県学校保健会

学校歯科委員会 副委員長 村田 浩伸 (青森市歯科医師会)

令和元年7月25日(木)青森県歯科医師会館3階大ホールにて青森県学校歯科保健研究大会が開催されました。

(参加者)	小学校	52名
	中学校	23名
	高等学校	11名
	幼稚園	1名
	教育委員会	1名
	地域保健	4名
	歯科医師	10名
	歯科衛生士	8名

【参加者小計】 110名

(大会関係者)	講師・発表者	4名
	報告者	2名
	来賓	1名
	関係者	14名

【関係者小計】 21名

参加者合計131名で昨年に比較して60名程多い参加者で盛大に開催されました。

10時35分～11時40分にわたり、実践発表が下記の発表者により行われました。

(小学校)	三沢市立木崎野小学校	養護教諭	種市陽子氏
(中学校)	八戸市立南浜中学校	養護教諭	夏堀玲子氏
(高等学校)	県立六戸高等学校	養護教諭	小田留美子氏

小学校においてはフッ素洗口を取り入れ、また、中学校では学校歯科医の細かい口腔清掃指導の実施などで、口腔管理の重要性についての保健指導を実施し、高等学校においては歯周病と全身疾患の関わりについての外部講師を招いての講話の開催など、受診勧告に対しての受診率の低迷を課題としているが、小学校から中学校そして高等学校と特色ある保健活動が報告され、むし歯予防、歯周病予防の効果は確認されているという内容の発表でした。

続いて、報告として「青森県の学校歯科の現状～平成30年度歯科データから～」。青森県歯科医師会学校歯科委員会委員千代谷良子氏より青森県においてカリエスは減少しているが全国平均にからはまだ離れていてむし歯の多い状況、県内においても格差が顕著であることが報告されました。また、「事前質問への回答」は青森県歯科医師会学校歯科委員会委員長工藤淳治氏より、学校歯科健康診断、就学時歯科健康診断における健診基準などについての事前質問に対して回答用紙を机上配布したうえで解説がありました。(次ページに掲載)

昼休みを挟み午後の部として12時55分より開会行事が執り行われました。主催者挨拶として青森県教育委員会教育長の代理でスポーツ健康課課長谷地村克久氏による代読で、児童生徒の生活習慣病改善は将来の健康寿命の延伸につながり、そのためには口腔ケアが重要で推進されるべきであるという内容の挨拶がありました。次に、青森県歯科医師会専務理事佐藤蔵人氏よりむし歯予防にはフッ素洗口が重要であることや、小児の口腔機能発達不全症について治療も今後重要になることなどの挨拶がありました。続いて来賓祝辞として、青森市教育委員会教育長成田一二三氏よりむし歯の予防、治療には学校と学校歯科医のみならず保護者の理解も必要で、生

活習慣病の予防と改善には児童生徒の周囲の協力が重要であることを述べられ、来場されている教育関係者、歯科保健に携わる方の歯科保健における協力を感謝の意を表明されました。開会行事終了後、13時20分より講演が開催されました。今年度の講演テーマは、【学校歯科健康診断の盲点「その子に、こんな問題が隠れているかも?!」】で、毎年春に実施される定期学校歯科健康診断において再考されるべき点について講演されました。

多くの歯科医師が学校歯科健康診断に携わり、それは年中行事のようになっていて手慣れているところでもあります。今回の講演では、安易に異常なしの健康診断結果判定には危険が潜んでいること。スクリーニングであるところの学校歯科健診において視診では判定の不可能な部分があり、それを発見するためには歯科医療機関への受診が必要であることを学校歯科医と共に学校も認識して、事後措置としての受診勧告書の様式、記載にも配慮が必要であることを様々な症例を基に講演されました。

講演は講師の学校歯科医としての理念と活動のお話も含め熱のこもった内容で、来場者との質疑応答も含め定刻を多少過ぎて今年度の学校歯科保健研究大会は終了しました。

この研究大会を通して、実践発表におけるフッ素洗口の実施がありましたが、青森県内の学校ではそれが浸透していないことや受診勧告後の医療機関への受診率低迷に対する改善、また、報告における平成30年度歯科データの分析による全国との比較で青森県はカリエスが多いことや県内での地域差が大きいことに対する改善、そして、学校からの事前の質問事項にあった学校歯科健康診断における診断基準の健診医による相違や、近年改正になった就学時の健康診断の基準の認識不足、または教育現場への周知の遅延に対する改善、さらに、講演で指摘されている学校歯科健康診断における盲点についての改善、これらの改善点に向けて、児童生徒の健康の維持増進、生活習慣病を口腔衛生の立場から考える時に、学校歯科医や学校歯科保健に携わる地域の方と、学校、教育委員会の共同の取り組みが必要と感じました。

【大会内容】

(1) 実践発表 (10:35～11:35)

小学校：三沢市立木崎野小学校	養護教諭	種市陽子氏
中学校：八戸市立南浜中学校	養護教諭	夏堀玲子氏
高等学校：県立六戸高等学校	養護教諭	小田留美子氏

(2) 報告 (11:40～12:05)

「青森県の学校歯科の現状～平成30年度歯科データから～」

講師 学校歯科委員会 委員 千代谷良子

「事前質問への回答」講師 学校歯科委員会 委員長 工藤淳治

(3) 講演 (13:20～15:20)

テーマ：学校歯科健康診断の盲点「その子に、こんな問題が隠れているかも?!」 蒲郡市で行なった学校歯科健康診断後のお知らせ用紙改善の理由とその後

講師 さとう子ども歯科医院 院長 佐藤厚氏(愛知県蒲郡市開業)

報告

【事前質問への回答】

Q1. 要観察歯（C0）が多数認められる生徒がいますが、健診では校医さんから「C0要相談」とは言われませんか。「多数」の基準はあるのでしょうか。

A. 「多数」の基準はありません。「C0要相談」の判断は学校歯科医の先生の判断ということになります。参考として要観察歯（C0）の検出基準は以下のように記載されています。

要観察歯（C0）：視診にて明らかな窩は確認できないが、う蝕の初期病変の徴候（白濁、白斑、褐色斑）が認められ、放置すると、う蝕に進行すると考えられる歯である。状態を経時的に注意深く観察する必要のある歯で、記号C0を用いる。

- (ア) 小窩裂溝においてエナメル質の実質欠損は認められないが、う蝕の初期病変を疑うような褐色、黒色などの着色や白濁が認められるもの
- (イ) 平滑面においてエナメル質の実質欠損は認められないが脱灰を疑うような白濁や褐色斑等が認められるもの
- (ウ) そのほか、例えば、隣接面や修復物下部の着色変化、(ア) や (イ) の状態が多数認められる場合等、地域の歯科医療機関との連携が必要な場合が該当する。学校歯科医の所見欄にC0要相談と記入。

Q2. 学校歯科医の先生方に学校健診の方法について確認する機会は数年に1回でもあるのでしょうか。

A. 学校歯科医間の健診精度の向上のため、青森県歯科医師会学校歯科委員会が学校歯科健康診断標準化資料を作成し、活用しながらできるだけ機会を設け、学校歯科医を対象とした研修会など各地区での健診基準の統一化を図っています。

また、日本学校歯科医会主催、文部科学省後援の学校歯科医基礎研修等への積極的な参加をお願いしています。しかし未だ学校歯科医によって診断結果にバラツキもあり、引き続き健診基準を共有化する努力が必要と思われる。

Q3. 歯垢除去は値段が同じでも歯科によって方法や時間が異なるのはどのような違いがあるからなのでしょう。（同じ人で受診から受診までの期間も同じ場合）

A. 児童・生徒の口腔内の状況によって時間や方法は違います。歯垢の性状（歯垢の多寡、粘着性があるかなど）むし歯リスクの高低や、むし歯、歯周病の予防なのか、すでに歯周病に罹患して治療の一環としての歯垢除去なのか、歯列不正の有無等、口腔内の状況によって指導管理の内容も異なるために方法や時間が異なる事になります。

Q4. C0の本数が多く検出された児童・生徒への効果的指導内容。（歯磨き、間食、歯科受診等具体的な指導ポイントや内容）

A. C0の本数が多く検出された児童・生徒への対応として口腔内のむし歯リスクが高くなっている（むし歯菌が増加している）状態と考えられます。通常の予防と同様ですが、むし歯の好発部位を中心とした歯磨き指導や、特にだらだらと砂糖含有の飲食生活をしない等の生活習慣の指導は重要です。

C0の状態では歯質強化、再石灰化を意識する事が重要ですので、積極的なフッ素歯磨き剤の使用、就寝前のフッ素洗口、口腔内のPHをあげ、再石灰化を促進するガム等の活用などが有効です。さらに定期的なメンテナンスやフッ素塗布のための歯科の受診も効果的です。

Q5. 歯科受診によりネグレクトや虐待が疑われ、児童相談所に通報した事例はありますか。具体的に教えてください。

A. 小児歯科学会が実施した「子どもの虐待に関する意識調査」で、疑わしい事例を経験する機会は49.3%でしたがその後の行動として、地域のセンターや児童相談所への相談あるいは通告などを行った者の割合は7.4%でした。通告を行わない理由として「疑いだけで確信が持てない」が55.6%でした。

通報例として、虐待事案の3分の1強を占める育児放棄（ネグレクト）の場合、歯磨きの習慣がなかったり、不規則な食生活で口の中に絶えず食べ物が入っていたりするケースや同年代の子に比べて、多数の未処置歯、むし歯だけでなく、不自然に折れた歯や口内の腫れ、出血なども身体的虐待のサインでの通報などがあります。

Q6. 歯科保健の立場から、熱中症予防のスポーツドリンクの飲用で気をつけること。

A. 熱中症予防のためには、こまめに水分を摂取することが大事ですが、砂糖が大量に含まれたスポーツドリンクをダラダラ飲むことによって、ずっとお口の中は糖分にさらされてしまいます。特にスポーツ中は唾液の分泌が抑えられるため、洗い流す力も期待出来ません。その状態では口腔内が酸性に傾いていることになり、必然的にむし歯のリスクが高まります。

歯科的には、熱中症予防のスポーツドリンク摂取は、酸蝕歯とむし歯の両方のリスクが高まると考えます。やはり歯の事を考えると、お水での水分補給をおすすめします。「補液」という考え方でどうしてもスポーツ飲料が必要という場合は、砂糖ではなくブドウ糖が入っているものを選び、その後水でうがいをおすすめします。

Q7. 先日、文書にてお知らせがありました、就学时歯科健康診断について詳しい内容を直接お聞きしたい。

A. 就学時の健康診断では乳歯の未処置歯についても検査し、う蝕が進んでいる場合は就学前の早い時期に治療を受けておくよう保護者に勧告すべきという観点から、要観察歯（C0）の見られる場合は、保護者に対して、間食の摂り方や口腔清掃などの保健指導を行うとともに、地域の医療機関等（かかりつけ歯科医）での専門的管理を勧めることも考えられます。また、乳歯3歯以上の処置歯がありC0が検出されたものは、う蝕多発傾向者として、専門家がその継続的な管理、予防処置を促すため、その旨を担当歯科医の所見欄に記載し地域の医療機関等の受診を勧める。（受診勧告）
*う蝕多発傾向者：歯科疾患管理料におけるう蝕多発傾向者の判定基準（5～7歳）を準用し歯冠修復終了歯が、乳歯3歯以上、または、永久歯1歯以上で、かつC0が検出された者とし、保護者に保健指導を行うとともに地域の歯科医療機関との連携を促す。

① 健康診断票の記載方法：健康診断票（第一号様式）にはC0は記載しません。う蝕多発傾向者として担当歯科医師所見欄に記載いただくことになりました。

② 健康診断結果のお知らせの記載方法：各教育委員会で様式が異なります。歯式等がある場合には、相当部位にC0を記載する等、記載できる場所がある場合には記載します。

「その他口腔の疾病及び異常」欄、もしくは最下段の「備考」欄に「う蝕多発傾向のためかかりつけ歯科医と相談」もしくは「むし歯になりやすい傾向があります。かかりつけ医と相談」などできるだけソフトな表現で記載してください。

記載方法等はそれぞれの地域の教育委員会の指示に従っていただいで結構です。

報告

令和元年度青森県歯科保健表彰式

～学校歯科部門～

日時：令和元年10月27日(日) 14:00
 場所：青森県歯科医師会館 3階大ホール

今年度も、たくさんの受賞者にお集まりいただき開催されました。学校歯科部門の結果は下記のとおりです。

なお、表彰式の様子は青森県歯科医師会ホームページに掲載されておりますのでぜひご覧ください。

(ホームページアドレス <http://www.aomori-da.org/>)



令和元年度 青森県歯科保健表彰式 (令和元年10月27日)

◆学校歯科保健優良校表彰結果

※敬称略

		小学校		
		小規模校の部 (0～7学級)	中規模校の部 (8～15学級)	大規模校の部 (16学級以上)
県	—	三沢市立三川目小学校	六戸町立大曲小学校	三沢市立三沢小学校
準県	—	三沢市立おおぞら小学校	三沢市立上久保小学校	三沢市立岡三沢小学校
		中学校		
		小規模校の部 (0～10学級)	大規模校の部 (11学級以上)	
県	—	平内町立西平内中学校	応募なし	
準県	—	六ヶ所村立千歳中学校		
		高等学校の部	特別支援学校の部	幼稚園の部
県	—	—	応募なし	応募なし
準県	—	八戸工業高等専門学校		



◆歯・口の健康児童表彰結果

※敬称略

～歯・口の健康児童 県審査会の様子～

	男子の部	女子の部
県	五所川原市立いづみ小学校6年 山口 暁太郎	八戸市立桔梗野小学校6年 釜澤 侑生
準県	弘前市立和徳小学校6年 小山田 拓未	青森市立新城小学校6年 八木 光稀
歯列咬合大賞	むつ市立苦生小学校6年 沼澤 沙奉	五所川原市立中央小学校5年 對馬 結葉
健康歯肉大賞	五戸町立五戸小学校6年 野呂 海斗	黒石市立黒石小学校4年 工藤 歩里

	男子の部		女子の部	
入選	青森市立小柳小学校5年	三上 公輔	弘前市立城西小学校6年	三上 慧舞
	八戸市立是川小学校6年	明戸 柊	つがる市立車力小学校5年	工藤 柚稀
	藤崎町立藤崎小学校4年	三浦 惺侑	むつ市立苦生小学校4年	式尾 天音
	鯺ヶ沢町立西海小学校1年	菊池 絢斗	横浜町立横浜小学校6年	二木 歌葉
	三沢市立木崎野小学校4年	成田宇望秀	五戸町立五戸小学校5年	苦米地玲衣

※県一を受賞されたお二人の口腔内写真を冊子8ページに掲載いたしました。健康できれいな模範例です。



◆図画・ポスター・標語コンクール結果 表紙をご覧ください。

特集

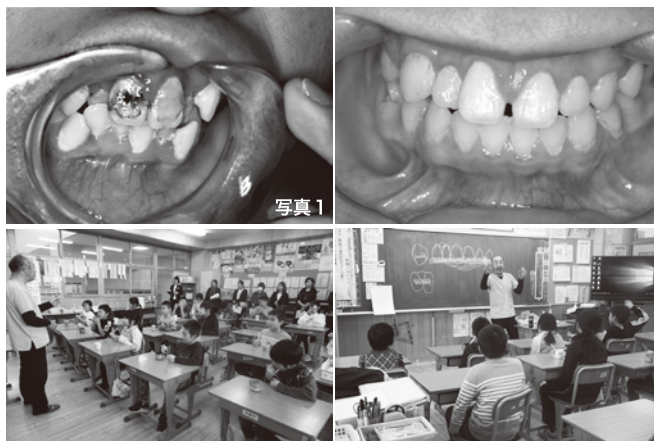
学校歯科医のお仕事

学校歯科委員会 委員 久米田 讓 (北五歯科医師会)

学校歯科医の職務といえば、主に例年6月30日までにを行う学校歯科健診ですが、そのほかに重要な事は、学校保健計画及び学校安全計画の立案に参加する事。健康教育、健康指導相談に従事する事。歯と他の疾病の予防処置に従事する事。等があるが、一番やらなければならないことは、むし歯の予防、治療について児童はともかく地区住民・保護者に理解される事ではないでしょうか？

毎年、春の歯科健診を行うと養護教諭に今回は、むし歯が多いとか少ないとか「何年生の〇〇さんむし歯治さないの？」とか話をすると「〇〇さんは家庭の事情でちょっと…」こんな会話が例年繰り返されます。その後、児童には歯ブラシの仕方を歯科衛生士が指導します。毎年これで終わりますが、むし歯の本数は増えるし治療率も上がらないし、夏休み後に行ったアンケート調査で夜は歯を磨くが朝食後歯を磨かない児童が多いため校長に保護者会などで講演する旨を話したら参観日に3・4年生に授業を受け持って教えてくださいとの要請がありました。むし歯の成り立ち等話して理解できないと思うので歯を磨かないとどうなるのか？写真1のようなスライドを用いて説明し、その後、歯の磨き方を実習したところ保護者には好評であった為、学校歯科医としてこういう授業参加も必要かと思いました。

近年、行政でもむし歯を減らすためフッ素塗布・フッ素洗口などに興味を持っていただき、乳幼児にはフッ素塗布を行う市町村増えてきています。教育委員会には、まだまだ説明不足で



思い腰を上げません。学校においてもいろいろ仕事が多くて問題があるのは解るのですが…。

津軽地方の市町村では、「朝ごはん条例」「りんごまるかじり条例」など、健康な身体と丈夫な歯と関連することが条例化されています。青森県の短命県返上のためにも歯の健康教育をして行くべきだと思います。

児童生徒一人でも多くむし歯の予防をし、食育を通して地域住民ならびに教職員と共に子供達の健康を見守って行きたいと思います。

DVDで参加する

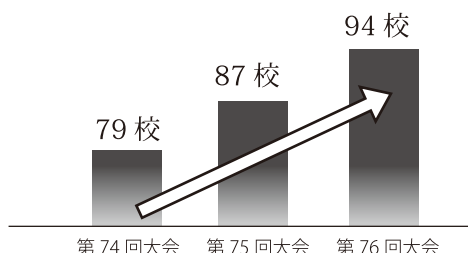
「第77回全国小学生歯みがき大会」

大会期間：令和2年6月1日（月）～10日（水）
 参加対象：小学校4～6年生（いずれか1学年）
 申込期間：令和2年1月6日～2月28日（金）24：00まで
 ※定員になり次第締切となります。
 申込方法：ライオン歯科衛生研究所のHPにてお申込み下さい。

当大会は、小学生に歯と口の健康に対する「気づき」を与え、健康意識を育てることを目的に、毎年「歯と口の健康週間」にあわせて開催しています。

大会では、クイズや実習を通して、歯と口の健康について楽しく学ぶとともに、お口の状態に応じた歯みがきの仕方やデンタルフロスの使用実習に加え、将来の自分のために望ましい生活習慣をつけることの大切さ、また、この習慣を継続することが大きな力となることの理解を図ってまいります。また、大会の事前／事後の参加校へのサポートとして、ホームページを通して、学校保健指導者の方々に歯科保健情報や指導教材をご提供しております。大会への参加を基点に、学校での継続的な歯科保健指導の展開に繋げていただけますよう、お願い申し上げます。

応募校の推移 応募率 32.8% (令和元年度)
東北地区で2番の応募率です



第76回大会青森県参加校

- 青森市 造道小学校 佃小学校 荻町小学校 橋本小学校
千刈小学校 沖館小学校 油川小学校 荒川小学校
浜館小学校 奥内小学校 後潟小学校 金沢小学校
浜田小学校 幸畑小学校 筒井南小学校 女鹿沢小学校
浪岡野沢小学校 浪岡北小学校 青森聾学校
- 弘前市 福村小学校 大和沢小学校 和徳小学校 西小学校
松原小学校 東小学校 裾野小学校 岩木小学校
相馬小学校
- 八戸市 長者小学校 江陽小学校 下長小学校 三条小学校
明治小学校 城下小学校 西園小学校
八戸第一養護学校
- 黒石市 黒石小学校 六郷小学校 中郷小学校 北陽小学校
東英小学校 牡丹平小学校 浅瀬石小学校 追子野木小学校
黒石東小学校
- 五所川原市 南小学校 栄小学校 中央小学校 三輪小学校 三好小学校
東峰小学校
- 十和田市 南小学校 東小学校 西小学校 藤坂小学校
- 三沢市 岡三沢小学校 三川目小学校 木崎野小学校
- むつ市 第一田名部小学校 第三田名部小学校 奥内小学校
関根小学校 大湊小学校 大畑小学校 脇野沢小学校
- つがる市 向陽小学校 瑞穂小学校 稲垣小学校 森田養護学校
- 平川市 金田小学校 柏木小学校 大坊小学校
小和森小学校 碓ヶ関小学校
- 外ヶ浜町 三厩小学校
- 鱈ヶ沢町 西海小学校 舞戸小学校
- 深浦町 深浦小学校
- 板柳町 板柳南小学校 板柳東小学校
- 中泊町 武田小学校
- 野辺地町 野辺地小学校 若葉小学校 馬門小学校
- 東北町 甲地小学校 蛇沢小学校
- 六ヶ所村 千歳平小学校
- おいらせ町 百石小学校 甲洋小学校 木内々小学校
- 大間町 大間小学校 奥戸小学校
- 三戸町 斗川小学校
- 南部町 剣吉小学校 向小学校

調査報告

令和元年度歯科保健調査報告 平成31年度の学校歯科保健統計より

学校歯科委員会 委員 千代谷良子
(むつ下北歯科医師会)

平成31年度の学校歯科保健統計によると、全国の12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数は0.70本で、平成30年度より0.04本減少し、過去最低を更新した。昭和59年度の調査開始時の4.75本以降、減少を続けている。

0.70本の内訳は、喪失歯0.01本、むし歯0.69本(処置歯0.45本、未処置歯0.24本)である。

青森県をみると、今年度の12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数は1.15本で、昨年度より0.12本で減少はしているものの依然全国との差が大きいのが現実である。

県内のう歯被患率(処置完了者、未処置歯のある者)は小学校55.5%(44.8%)、中学校46.1%(34.0%)、高等学校53.8%(43.7%)(括弧内は全国)でいずれも低下はしているが全国的には下位を低迷している。

地区別では、ほぼ各年齢層にわたり東青地区は被患率が低く、西北地区は高率であり、その差は約20%に及び、各地区に共通して12歳前後以降のう歯被患率が急増することから、中学・高校時期の学校歯科保健活動が大切になると考えられる。

また、本県の特別支援学校の12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数は、0.7本で全国平均と同程度である。

次代の社会を担う子供一人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的負担の軽減や環境整備には、フッ化物応用(とくに学校におけるフッ化物洗口)の施策などが必要と思われる。

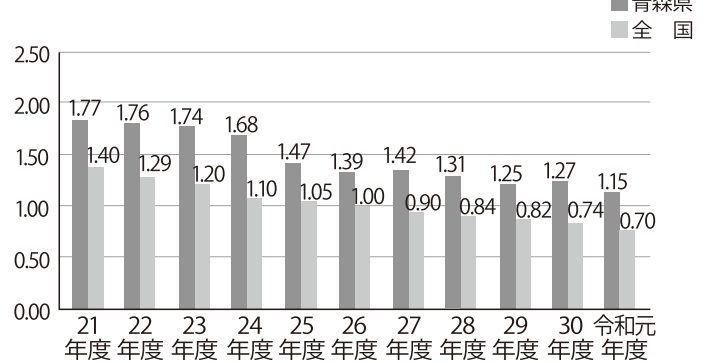
特別な支援の必要があるなしに関わらず、学校、保護者、地域、歯科医師が連携し、子供をサポートし合うシステムを構築し、足並みを揃えて将来を見据えた歯科保健活動を実践してほしいと思う。

永久歯の1人当たり平均う歯等数(12歳児)

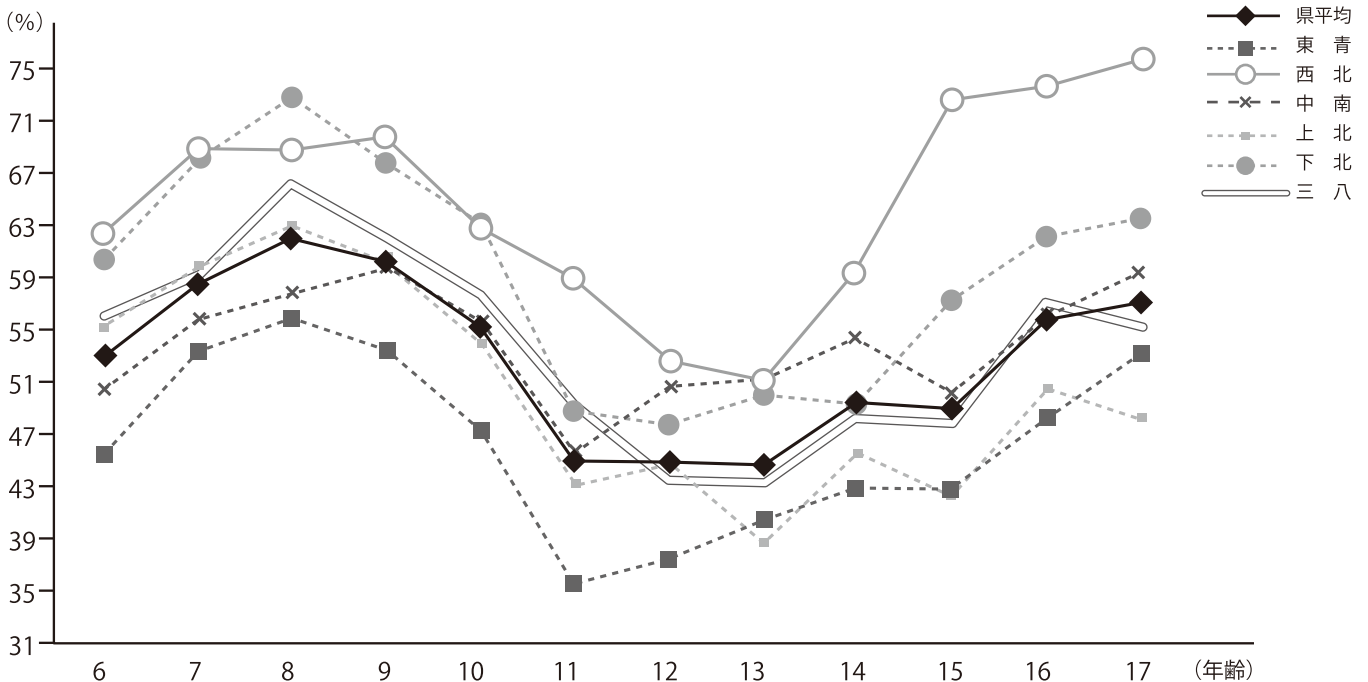
国・県・年度	区分	計(本)	喪失歯数(本)	う歯		
				計(本)	処置歯数(本)	未処置歯数(本)
全国	平成30年度	0.74	0.01	0.73	0.47	0.27
	平成31年度	0.70	0.01	0.69	0.45	0.24
本県	平成30年度	1.27	0.05	1.22	0.70	0.51
	平成31年度	1.15	0.00	1.14	0.73	0.41

「平成31年度児童生徒の健康・体力」より

過去12歳児DMF歯数 全国比



う歯被患率地区別比較(男女合計)



「平成31年度児童生徒の健康・体力」より

令和元年度青森県市町村別DMF歯数(学年別)

市町村名	小5年	小6年	中1年 (12歳児)	中2年	中3年	高1年	高2年	高3年
青森市	0.39	0.48	0.84	1.20	1.36			
弘前市	0.52	0.71	1.48	1.59	1.92			
八戸市	0.62	0.82	1.01	1.25	1.63			
黒石市	1.18	1.83	1.95	3.03	3.61			
五所川原市	1.12	1.69	1.86	1.95	2.77			
十和田市	0.55	0.65	1.45	1.55	1.62			
三沢市	0.28	0.45	0.41	0.73	0.70			
むつ市	0.71	0.85	1.24	1.61	1.70			
つがる市	0.59	0.97	1.48	1.49	2.00			
平川市	0.59	0.52	1.17	1.23	1.85			
平内町	0.19	0.69	0.94	0.65	1.22			
今別町	1.22	1.60	1.14	3.33	2.00			
蓬田村	0.70	0.30	0.21	0.47	1.22			
外ヶ浜町	0.75	0.45	2.18	2.12	1.22			
鱒ヶ沢町	0.69	1.25	1.67	1.63	1.44			
深浦町	0.47	0.49	0.67	1.22	1.84			
西目屋村	0.80	0.00	-	-	-			
藤崎町	0.62	0.48	1.46	1.82	2.72			
大鰐町	0.17	0.45	0.96	1.04	1.07			
田舎館村	0.75	0.97	1.95	2.77	4.67			
板柳町	1.44	1.65	1.68	1.84	2.29			
鶴田町	1.26	1.35	1.04	1.48	1.98			
中泊町	0.53	0.74	0.73	1.03	1.68			
野辺地町	0.56	0.98	2.13	1.16	1.90			
七戸町	0.48	0.46	0.56	0.89	1.01			
六戸町	0.89	0.72	0.89	0.55	1.79			
横浜町	1.43	2.35	2.15	3.29	2.81			
東北町	0.69	0.90	1.39	0.91	1.56			
六ヶ所村	0.63	1.09	2.02	2.53	2.25			
おいらせ町	0.52	0.40	1.28	1.70	2.17			
大間町	0.83	1.24	1.72	1.95	2.23			
東通村	1.14	1.31	1.49	2.65	3.08			
風間浦村	0.22	0.78	2.00	1.79	4.57			
佐井村	1.00	1.50	2.00	1.77	1.88			
三戸町	0.27	0.71	1.13	2.21	2.29			
五戸町	0.71	0.79	0.83	1.15	1.58			
田子町	0.24	0.56	0.59	0.89	0.76			
南部町	0.75	0.69	1.42	1.54	2.32			
階上町	0.78	0.86	1.41	0.61	0.76			
新郷村	0.88	2.18	5.22	2.64	2.76			
計(学年)	0.59	0.75	1.15	1.40	1.74	2.00	2.46	2.70
計(学校種)	0.39		1.43			2.39		



ラグビーW杯から教わったこと



学校歯科委員会 委員 稲村 裕之
(三戸郡歯科医師会)

桜のジャージーで街があふれかえった。満開の桜は見る人の心を揺さぶる。日本人が世界中の誰より桜を愛してやまない理由は、他の花と違い枯れ果てて散るのではなく美しく散っていくからである。

日本代表の通称は『ブレイブ・プロッサムズ』直訳すると勇敢な桜の戦士。左胸には桜のエムブレムが刻まれている。桜の刹那的な美しさから正々堂々と戦い、破れる時は美しく散れという特別な思いが込められている。

W杯開催前、ラグビー経験者や一部の熱狂的なファンの間では盛り上がりを見せていたが、本当に日本で盛り上がるのかなどと不安視する声もあった。しかし日本代表の史上初のベスト8入りとともに素晴らしい盛り上がりとなった。なぜここまでファンを増やしたのだろうか？それはラグビー文化の根底にある3つの精神に共感した人が多かったからではないだろうか。

『フェアプレーの精神』『自己犠牲の精神』『ノーサイドの精神』ラグビー文化においてこの3つの精神が伝統的に守られてきた。

フェアプレーの精神は危険なスポーツなだけに厳しく決められたルールを遵守し、正々堂々と戦いまたレフリーを絶対とする思想にもつながる。

自己犠牲の精神は誰もが一度は聞いたことがあると思うが One for all, All for one (ひとりみんなのために、みんなはひとりのために) に集約されている。

ノーサイドの精神はどんなに激しい試合の後でも、試合が終われば敵味方関係なくお互いの健闘を讃える。

応援するファンにも暗黙のルールがある。ラグビーの試合が行われるスタンドにはチームごとの席は用意されていない。双方のファンがごちゃまぜになって座り、自分の応援するチームの良いプレーにはもちろん相手チームの良いプレーにも拍手を送る。そしてお互いの健闘を讃える。

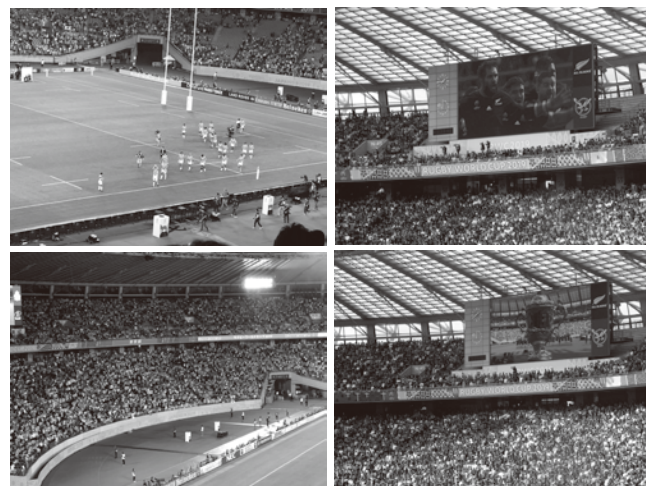
またワールドラグビー憲章にも5つの言葉が記されている。

品位 情熱 結束 規律 尊重

これらは時代遅れの伝統と、美徳かもしれないが選手たちのプレーを通じて日本が忘れかけていた何かを思い出し共感した人たちが多かったはずだ。

大会前、主将のリーチ・マイケルは日本代表について日本人と外国人が一緒になって結果を出す。ダイバーシティ(多様性)がすごいチームと思ってほしい。と語っていた。

今後外国人労働者が増加しグローバル化する日本において同じ目標、思いがあれば一つにまとまることができるという理想像であったと思う。



「歯・口の健康児童」県一受賞者



五所川原市立
いずみ小学校 6年
山口暁太郎さん



八戸市立
桔梗野小学校 6年
釜澤侑生さん

第58回全日本学校歯科保健優良校

[奨励賞]

深浦町立いわさき小学校

三沢市立木崎野小学校

青森県立森田養護学校

来年度の予定

募集関係

■ 図画・ポスター・標語コンクール

締切 令和2年6月27日(土)
審査会 令和2年7月4日(土)
金賞作品展示予定
OR2.10.25(日)「青森県歯科保健表彰式」

■ 青森県歯科保健優良校表彰書類審査会

令和2年9月26日(土)
※締切は地区により異なりますので、要項をご覧ください。
県審査会への締切(地区から県へ)
令和2年9月4日(金)

■ 「歯・口の健康児童」県審査会

令和2年10月25日(日)
青森県歯科保健表彰式開催前
※締切は地区により異なりますので、要項をご覧ください。

県審査会への締切(地区から県へ)
令和2年9月11日(金)

※募集要項は4～5月に各園、学校へメール通知または郵送されます。また、本会ホームページへも掲載予定です。応募の際は募集要項をご確認の上、各園、学校で取りまとめてご応募下さい。

大会関係

■ 青森県学校歯科保健研究大会

(青森市 青森県歯科医師会館)
令和2年7月29日(水)

■ 第84回全国学校歯科保健研究大会

(福井県福井市 AOSSA)
令和2年10月8日(木)～9日(金)

■ 令和2年度全国学校保健・安全研究大会

(富山県富山市 オーバード・ホール)
令和2年11月12日(木)～13日(金)

第70回全国学校歯科医協議会

(富山県富山市 オークスカナルパークホテル富山)
令和2年11月12日(木)



編集後記

青森県では糖尿病と歯周病の関係について医科歯科連携での講演会や研修会が開催され、県民に対しては予防意識の向上の促進、医科歯科医療機関に対しては診療情報連携共有の周知がなされているところである。糖尿病も歯周病も生活習慣病であるが、その予防には生活習慣の改善は必須であろう。巻頭言の記載にもあるように現在、高校卒業後、ふしめ健康診断を迎える40歳まで、歯科健康診断がない状況の中では、学校における健康診断や、適切な生活習慣に対する保健教育は重要である。また、健康診断後の事後措置、必要に応じた医療機関への受診も重要である。教育現場での保健教育の大切さ、健康診断実施方法を再認識、再考しなければならない時期であると感じる。

学校歯科委員会 副委員長 村田浩伸

発行者／一般社団法人青森県歯科医師会 〒030-0811 青森市青柳一丁目3-11 TEL017-777-4870 FAX017-722-4603
学校歯科委員／委員長：工藤 淳治 副委員長：村田 浩伸
委員：石橋 洋幸、児玉 丹奈、久米田 譲、葛西 治千代、千代讓谷 良子、坪田 亘基、稲村 裕之

この学校歯科委員会だよりは青森県歯科医師会ホームページでもご覧いただけます。青森県歯科医師会ホームページアドレス：<http://www.aomori-da.org/>